昇降機・ビルシステムの現状と展望

地球環境問題に代表されるように、近年、社会情勢は大きく変化している。ビル分野にもこの影響が及び、環境保全の高まり、情報通信の高度化、マルチメディアの進展、高福祉社会の到来等の変化にこたえることが重要な課題となっている。

この対応として、三菱電機は、昨年、三菱昇降機のアイデンティティに、

- Efficient, Reliable & Comfortable
- Vertical Transportation Systems
- •All Over the World

を決定した。

従来の品質重視の考え方を堅持しつつ、より環境に優しく、信頼性にも優れ、お客様に使いやすく快適な昇降機を世界に提供しようということである。そしてこのアイデンティティ実現のために、種々の技術開発を推進している。

また、ビルシステム分野においては、その管理対象を従来の個々の設備管理から昨今の情報通信技術を駆使したビルトータルの運営管理へ移行することにより、効率的な管理の実現と快適なビル環境の提供を目指している。

本稿では、これら昇降機とビルシステムの現状と将来動向について述べている。

新妻敬太郎*

* 稲沢製作所エレベーター企画部長 * * 同製作所エレベーター開発部長(工博) * * * 同製作所ビルシステム部長 阿部 茂 * *

岡村 繁 * * *

富田 悟+ +電力・産業システム事業所広域監視制御部長